

2018年6月9日(土)

英会話道場イングリッシュヒルズ  
文書教材

哲学は、「学問の基礎」であり、且つ、「国際的教養の基盤」である

生井利幸

『哲学は、「学問の基礎」であり、且つ、「国際的教養の基盤」である』、・・・わたくし生井利幸は、この捉え方の下で、当・英会話道場イングリッシュヒルズにて教授活動を行っている。

言うまでもなく、教室の学習者はすべて、レッスン受講1年目から、わたくし生井利幸が著した哲学書、「人生に哲学をひとつまみ」(はまの出版)の勉強を開始し、ノート作成を行っている。

philosophy は、「哲学、人生哲学、哲理、哲人的な精神」等の意味である。philosophy の語源であるギリシア語では、「哲学」(philosophia)は、「知」(sophia)を「愛する」(philein)、という意味を成す(生井利幸著、「人生に哲学をひとつまみ」(はまの出版)、33頁参照)。

日本における philosophy の概念は、総じて「哲学」という意味であるが、西洋における philosophy は、大きく2つの意味に分かれる。

西洋における philosophy は、まず第一に「哲学」という意味であり、これは、日本で捉える概念と同じ概念である。

philosophy の第二の意味は、「学問、学術」。即ち、古代ギリシアにおける学者は、研究する分野がどのような分野であっても、まず第一に、学問の基礎である「哲学」を研究した。「学問の基礎」は哲学、・・・これは即ち、哲学そのものが、「学問」「学術」であったということだ。

西洋では、「博士号」を Ph.D. と呼ぶことは周知の事実である。Ph.D. は、いわゆる Doctor of Philosophy を意味し、例えば、法学博士であれば Doctor of Philosophy in Law、医学博士であれば Doctor of Philosophy in Medicine と表現する。この場合、philosophy は、「学問」「学術」という意味で使われる。

長年にわたって学問研究に携わってきたわたくし生井利幸自身、厳格な学問の精神の下で本質論を述べるならば、philosophy は、「哲学」であると同時に「学問」「学術」を意味する語。

哲学は、ありとあらゆる学問の基礎。それ故、学問を通して真理探究の道を歩む研究者においては、まず第一に、「学問研究の基礎」である哲学を学ぶことが大前提となる。

philosophy に対するこのような捉え方は、古代ギリシアのみに限られたことではない。この捉え方は、広く、西洋文明社会全域にわたって、古代、中世、近代、現代に至るまで、根本の根本から学問研究を行う研究者における「常識」(common sense)である。